

【継続は力なり(ウェイトリフティング部・ソフトテニス部)】

令和5年9月25日

9月16日(土)に「第35回淡路高等学校新人ウェイトリフティング競技選手権大会」が淡路高校で開催されました。この大会は、「第62回兵庫県高等学校新人ウェイトリフティング競技大会」の予選も兼ねています。本校からは、荒川 晴翔 君(T1B)が出場し、見事県大会出場を決めました。ウェイトリフティング部は全国大会に幾度も出場するなど、輝かしい実績と伝統を誇る部です。現在は、部員が荒川君一人ですが、顧問の山口先生と二人三脚で毎日練習に励んでいます。新人戦という公式戦の試合会場は非常に緊張感がありましたがプレッシャーに負けず、スナッチ 70kg、ジャーク 88kg を挙げ**自己ベストを更新**しました。また、今回の記録により、**県の強化選手にも選ばれました**。荒川君に日頃の活動や県大会に向けての抱負などを聞きました。



荒川君：「日々、新記録を出せるように、フォームを意識しながら努力しています。部員が一人なので不安になることもあります。が、**ポジティブ思考で前向きに取り組んでいます**。これまで、何かを継続して頑張ったことがなかったので、この部に入って**続けることの大切さや楽しさ**を学びました。県大会では、今回の新人大会よりも良い記録を残したいと思います。」

～地道な努力と前向きな姿勢が荒川君の持ち前だと感じました。これから更に磨きをかけて県の上に食い込む活躍を期待しています。～

続いてソフトテニス部の活躍についてです。9月16日(土)～9月18日(月)にかけて、「第40回淡路高等学校ソフトテニス新人大会」が国立淡路青少年交流の家で開催され、男女個人戦・団体戦が行われました。その結果、男子個人の釜田 仁 君(M2A)と中村 吾郎 君(E2A)のペアが**ベスト4**に入り、**県大会出場**を決めました。女子では道上 紗羽さん(C2A)と川野 紗菜さん(C1A)が**ベスト8**に入りました。ソフトテニス部は以前から男女ともに強豪校として知られています。練習量も豊富でこれからの活躍が楽しみです。県大会への豊富や日頃の練習についてキャプテンの中村君、副キャプテンの釜田君、女子キャプテンの道上 紗羽さん(C2A)、興津 優希さん(C2A)に話を聞きました。



釜田君：「キャプテンとしてチームをまとめ、練習がスムーズにできるように**自分から率先して行動する**ように心がけています。思うようなプレーができないときは冷静に振り返るようにしています。部活動では、**できることを自信を持って繰り返し取り組む**ことと**一生懸命努力することの大切さ**を学びました。」

中村君：「試合では、攻守をしっかりして後衛らしいプレーができるよう練習しています。いつものプレーができないときは、**色んなことを 試しながら克服**しています。試合では**チームの応援がとても心強く、支えられている**ということを学びました。県大会では強気のプレーで1点1点を大切にしたいです。」

～ダブルスは個人の力と2人コンビネーションがかみ合わないとうまくいきません。**それぞれの努力とチームワークが勝利を掴むポイント**のようですね。県大会でも元気なプレーで勝利して下さい!～

道上さん：私がプレーで頑張っていることは、ボールが2バウンドするまで諦めずに走ることです。キャプテンとしては、辛いことがあったら仲間に相談にのってもらい支えてもらっていて、**チームでのコミュニケーションが大切**だということを知りました。

興津さん：私はみんなと”笑顔”でソフトテニスを楽しむようにしています。学年関係なしに接しながら活動しています。夏場はとても暑く限界を感じるがありますが、**一人の時間を大切に気持を整理**して余裕を持つようにしています。そして、**どんなにしんどくても仲間がいることで乗り越えられる**ということを知りました。

～ソフトテニスは個人競技とはいえ、やはりチームとして仲間の存在は大きいです。支え合える仲間がいるというのは幸せなことですね。それとは逆に一人の時間を大切にするのも必要です。**仲間も自分も大事**にしながら、さらにいいチームを目指して頑張りましょう!～

